

## 専攻実習Ⅱ

講師名	小田中 温美	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、県内で栽培されている水稲主要品種の栽培管理を通じて、水稲の栽培管理技術と水稲経営に必要な実践的能力を習得するための実習を担当する。				
科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数	
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・農産	必修	2	通年	495	11	
使用教科書・副教材	農学基礎シリーズ作物学の基礎Ⅰ 食用作物(農山漁村文化協会) 病害虫・雑草フィールドブック【水稲編】(全国農業会議所)、いわての農作物雑草図鑑(岩手県植物防疫協会)、令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針(岩手県)、【農学基礎セミナー】新版作物栽培の基礎(農山漁村文化協会)						
授業の目的	県内で栽培されている水稲主要品種の栽培管理を通じて、水稲の栽培管理技術及び経営に必要な実践的能力を養う。						
授業の到達目標	水稲栽培を通じ、基本的栽培技術と実践的作業技術を習得する。						

月	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	種子予措と育苗管理	ほ場準備(耕起)種子予措、播種、育苗期管理、育苗期の病害虫防除、直播の種子コーティング法を学習する。	56	実習	
	稲作栽培におけるASIAGAPの取り組み①	GAPの理念、仕組み及び栽培工程、収穫・調製工程における管理点と適合基準について学ぶ。	4	実習	
5月	移植前後の管理	ほ場準備(施肥、代かき)、移植・直播播種技術、雑穀播種について学習する。	98	実習	
6月	分けつ期の管理	水管理、生育調査、畦畔管理、大豆播種、雑穀移植について学習する。	24	実習	
	稲作栽培におけるASIAGAPの取り組み②	GAPの農場管理及び実績記録方法について学習する。	2	実習	
7月	病害虫防除と追肥	病害診断といもち病防除、追肥要否判断、畦畔管理、小麦収穫、気象変動に対応した管理を学習する。	24	実習	
8月	出穂前後の管理	斑点米カメムシ防除、気象変動に応じた管理について学習する。	28	実習	
9月	収穫期前後の管理	成熟期調査、収穫期の判断、坪刈り、乾燥調製を学習する。	86	実習	
	稲作栽培におけるASIAGAPの取り組み③	食品安全における前提条件プログラム及び生産工程における食品安全に関するリスク管理について学習する。	4	実習	
10月	収穫期の管理	機械収穫、乾燥調製、坪刈り収量調査、収量構成要素調査を学習する。農大祭での販売品の調製や対面販売を実施する。	90	実習	
	稲作栽培におけるASIAGAPの取り組み④	ASIAGAP審査に向けた取り組み	4	実習	
11月	米の品質食味調査調査データ解析	米の品質調査、食味関連調査、事例研究を行ない、知識を深める、調査結果をまとめる。	76	実習	
		合計	496	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

習熟度・提出物60%、平常点40%(出席状況、学習態度)

履修に当たっての留意点等

実習時は、内容に応じた服装であること。作業着は常に清潔を保つこと。  
実習中には、説明が多いことからメモ帳、筆記用具を常に携帯すること。